

ディスコグラフィー掲載

ディスコグラフィー【2018No.107】(HP 掲載)

分類：MQA/UHQCD

作曲家：ドヴォルザーク

曲名：:交響曲第8番・第9番

演奏：ラファエル・クーベリック指揮ベルリンフィル

発売：Universal Music

No. : UCCG-40074

概要：



録音年：1966年6月（作品88）、1972年6月（作品95）

録音場所：ベルリン、イエス・キリスト教会

指揮者：ラファエル・クーベリック

楽団：ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

収録曲：

ドヴォルザーク：交響曲 第8番 ト長調 作品88

第1楽章: Allegro con brio

第2楽章: Adagio

第3楽章: Allegretto grazioso - Molto vivace

第4楽章: Allegro ma non troppo

ドヴォルザーク：交響曲 第9番 ホ短調 作品95《新世界より》

第1楽章: Adagio - Allegro molto

第2楽章: Largo

第3楽章: Scherzo. Molto vivace

第4楽章: Allegro con fuoco

DACとしてSonica DACを使用し、CDドライブから読み出して、*fidata*から送り出し、Sonica DACのUSB入力端子にインフラノイズの新製品UACU-700を装着します。

MQA-CD は通常 **CD** として聴いてみました。

交響曲第 9 番は、ケルテス指揮ウイーンフィルのものが、あまりに有名ですが、チェコ出身のクーベリック指揮ベルリンフィルの本盤も、新天地アメリカを題材にしながらも、どこかボヘミアの風景を思わせる懐かしさがこみあげてきます。

交響曲第 8 番は、さらに、クーベリックがボヘミアの風景を抒情的に歌い上げる様が、**MQA-CD** へのリマスタリングと **UACU-700** の効果が相まって、リアルに再現されています。

以上